

「令和元年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会（第1回）」
議事概要

I 日 時

令和元年6月13日（木）10:00～11:40

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階 会議室1～3

III 出席委員（敬称略）

中村 洋（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授）

和田 義博（公認会計士）

伊藤 憲二（森・濱田松本法律事務所 弁護士）

◎疋田 英一郎（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事）

○大塚 美智子（独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事（非常勤））

※ ◎は委員長、○は委員長代理

IV 議 題

(1) 審議事項案件

- ① 令和元年7月から9月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 平成31年1月から3月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
 - I：随意契約等における価格交渉状況
 - II：一者応札・応募となった案件の次回改善策
- ③ 平成30年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画の自己評価について
- ④ 令和元年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画（案）について

(2) その他

V 議事内容

- (1) ① 令和元年7月から9月にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件（一般競争入札【最低価格落札方式】を除く。）に係る事前点検について
- ② 平成31年1月から3月にかけて調達した案件に係る以下の内容についての事後点検について
- I：随意契約等における価格交渉状況
- II：一者応札・応募となった案件の次回改善策

標記について審議及び報告が行われた。主な概要は以下の通り。

委員からの主な質問・意見及び当機構の回答	
質問・意見	回答
<p>① 競争原理の働かない調達（ex.ハードとソフトの一括発注）とならないよう、過去の事例から事前に検知するよう努めるとともに、新規参入がしやすいような調達方法（ex.分離発注）を検討すること。</p> <p>② 既存システムの更新といった調達においては現行ベンダーが優位となる中、他者参入による競争原理を働かせるための創意・工夫を検討する際、PMDA サイドだけでは限界もあることから、ベンダーからのアイデアも取り入れることが必要。</p> <p>③ 一般競争入札と実質的な随意契約（公募）のどちらの契約方式においても同程度の効果が得られると見込まれる場合、どちらの契約方式を採用すべきかという、PMDA としてのポリシーを明確にすること。</p>	<p>ご意見のとおり、努めてまいります。</p>

- ③ 平成30年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画の自己評価について
- ④ 令和元年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構調達等合理化計画（案）について

標記について、昨年度の調達等合理化計画の自己評価の報告と今年度の調達等合理化計画案の審議が行われ、それぞれについて了承された。

- (2) その他

令和元年7月～9月調達予定案件一覧表（最低価格落札方式）についての報告が行われた。

以上